学校番号	414

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)美術演習 β	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がり、さらに深まります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	人物画	【絵画】 ・身近にいる人の雰囲気を捉え、制作する。 ・色彩やデッサンを意識して画面構成する	a:色彩構成やデッサンを意識して誰を描いたのかがわかるような仕上がりをめざすことができる。 b:モデルの持っている雰囲気を捉え、画面上に表現することができる。 c:表現方法にこだわり、丁寧に仕上げることができる。	作品評価	作品評価	作品評価
2学期	版画	【版画・工芸】 ・版画技法に親しみ、様々な表現を目指す ・何度も繰り返し刷っていきながら生徒自身が納得できる作品を制作する	a:版画技法に関心を持ち意欲的に制作に励むことができる。 b:表現方法にこだわり、丁寧に仕上げることができる。 c:より良い作品を制作するために何度も手直しを繰り返し、制作することができる。	・作品制作の様子	作品評価	・作品制作の様子
3学期	テクニックコラージュ	【絵画】 ・様々な技法を試し、より多くの技法を体験する。 ・制作した素材を使い、画面を構成し作品を制作する	a:様々な技法に関心を持ち、表現の可能性を探求できる。 c:テーマに合致した構成を意識し、素材を選択することができる。 d:製作中の作品がよりよく見えるように常に客観視をし続けることができる。	・作品制作の様子	作品評価	・作品制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度